

井原議員（広志会）

令和6年2月20日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）教育長の2期6年の成果について

教育長の2期6年で何ができたのか、その成果について、教育長に伺う。

（答）

平成30年4月の着任以降、「学びの変革」を加速・発展するため、教育の質的転換として、

- ・ 課題発見・解決学習を取り入れたカリキュラムの開発、
- ・ 児童生徒の資質・能力の定着状況を評価するルーブリックの研究・実践
- ・ 教員の資質・能力の向上

などに取り組んでまいりました。

また、「学びの変革」を推進する基盤として、全ての県立学校における生徒一人1台のコンピュータの導入や広島叡智学園の国際バカロレアの認定による、先進的な学びを実践する環境の整備などを進めてまいりました。

さらに、「学びの変革」の理念に基づく取組として、高等学校入学者選抜制度の改善等にも取り組んでまいりました。

このほか、自由進度学習と呼ばれる、個々の学習進度に応じた指導方法の研究開発を進めるとともに、スペシャルサポートルームの設置支援や、「School "S"」の開設による、不登校等児童生徒に対する多様な学びの機会と選択肢の提供などを通じて、「個別最適な学び」の充実などにも取り組んでまいりました。

これまでの6年間における、「子ども起点」での様々な取組により、「学びの変革」の実現に向けた道筋をつけることができたものと考えております。